

2023年(令和5年)

第57号

(9月1日)

平安だより

HEIAN letter

発行所：立正佼成会 京都教会

発行責任者：渉外部長 澤村悦玄

編集委員長：渉外広報 植田恭司

〒605-0041 京都市東山区三条東町 230

TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

今月のことば ～欲ばりは煩いのもと～ 京洛支部長 豊田陽子

今月は、京洛支部の豊田がお役を頂きました。私は現在、テニスクラブに所属し活動しています。今年から会計の役を頂き、チームのメンバーの活動がしやすいように心を配っていたつもりでした。練習の時も試合の時も車だしをしたり、差し入れをしたり、自分ではクラブの皆さんに喜んでいただいていると思いつ込んでいました。

しかしある時、私の意に反して、チーム内での私の言動や行動を指摘する声を繰り返し聞かせて頂き、何が違っていたのか、何をすればよかったのか悩みました。その悩みを現在参加している会員教育Ⅱ(zoom)の中で、「共に歩む人」に聞いていただき、私が皆さんのためにあもしてやりたい、こうもしてやりたいと良かれと思ってやるのが、相手にとっては押しつけになったり、重荷になってしまっていたのではないかと。また、指摘する人もただ単に私を非難するのではなく、チームをより良くしたいと思っているからこそ声に出して指摘してくれたのではないかと教えていただきました。私が相手にとって良かれと思ってする言動や行動は、相手が受けとってくれてこそであること気づかされたのです。

先日お亡くなりになった外園元支部長さんに、京都に来た頃一度だけご指導を頂きました。当時、姑の愛情の深さに戸惑い悩み、母を拒絶したい私に、相手の

心の声に傾聴する大切さを教えてくださいました。そしてその声に対する応えは自分の心の中にあるということでした。実践してみると苦を作っているのは自分で、姑に歩み寄ることで心が解放されていったのです。

会長先生は今月のご法話で、「私たちはときに欲望に歯止めがかからなくなります。それゆえ、利他の心を忘れずに欲望をほどほどに抑える日頃の精進が欠かせないのです」とご指導くださっています。何が私の苦しみの元になっているかを改めて考えた時、テニスクラブでの不協和音は、姑の問題で学んだはずの相手の望むことに耳を貸さずに、良かれとの思いからあもしてあげたい、こうもしてあげたいという私の思いが先行し、結果として私の欲望のままになってしまったことが原因であったと気付かされたのです。さらに会長先生はご法話の中で、仏教では「少欲知足」の大切さを教えてくださいますが、わかっているけれどもそれができない私たちですと、私を温かく救ってくださいました。

こんな私ですが、ご法話にありますように、あくまでも利他の心を忘れず、「小欲知足」「喜足」を心がけ、日常生活の中で、目の前の必要十分な喜びを見つけ、まわりの声をよく聞き、人さまに安心して頂ける私になりたい、健康で幸せな生き方をしたいと思わせて頂き、これからの精進につなげていきたいと思えます。

みなさま、ありがとうございました。

第12回ありがとうコンクール ～「ありがとう」1日100回運動推進委員会より～

この度、「ありがとう」1日100回運動の一環として、「ありがとう」コンクールを下記のとおり開催させていただきます。ふるってご応募頂きますよう、よろしくお願い致します。

1. 応募内容：「ありがとう」の感動を表現したもので、標語・川柳・詩など何でも可
2. 応募要領：一人一件とし、応募用紙にご記入の上、応募箱へ入れるか、メールにてご応募できます。
メール応募の送り先
melci@m4.kcn.ne.jp

※ 応募箱は、教会1F東玄関に設置しています。

3. 応募期間：9月10日(日)～10月13日(金)
4. 選考要領：推進委員会において選考
5. 優秀作品：京都教会ホームページ・平安だよりに掲載するとともに教会に掲示します。
後日、作者に記念品を贈呈

◎昨年の最優秀作品

- ・ありがとう 何気なく普通に過ごせる
日々に 感謝する

◎昨年の優秀作品

- ・ありがとうと 想える事が ありがたい
- ・ありがとう 夫婦げんかの 予防薬

令和5年、私たちは「日々感謝 にこにこ元気に出会いたい ありのままの私から」を実践して参ります。

京都教会のホームページもご覧下さい。https://rkk-kyoto.jp/